

丸協にゆーす

- 「物流ニッポン」にて紹介されました
- 丸協運輸のSDGsの取り組み
- 今、知っておきたい物流topics

丸協運輸のSDGsの取り組み



2021.5 丸協にゆーす

私たちのテーマ：「持続可能な物流サービスの提供」

持続可能な社会の実現・物流サービスを通じた社会貢献を目指して
私たちに何ができるのか？

渡部社長を始めとするSDGs推進メンバーでSDGs推進会議を実施、17の項目のうち丸協運輸として重点的に取り組むべきゴールを「SDGs取組評価シート」にまとめ、3つのゴールを設定致しました。

SDGs推進会議(2021年5月8日実施)にて議論・決定
【SDGs取組評価シート】

SDGs取組評価シート (物流業としての取り組み優先度/10点満点)

SDGs 17の取り組み項目	評価点	理由	コメント
1 貧困をなくそう	0	0	
2 飢餓をゼロに	2	1,3	食べ物を減らすという点では重要?
3 すべての人に健康と福祉を	3	12	安全・安心な物流提供
4 質の高い教育をみんなに	0	0	教育・物流業界の教育貢献
5 ジェンダー平等を實現しよう	7	7	女性活躍 ハラスメント防止。業界が男性社会と思われがちなので、女性もアビールも必要。
6 安全な水とトイレを世界中に	0	1,3	0
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	0	0	0
8 働きがいも経済成長も	5	5	4 大船発着場 5 多様な従業員の雇用、働き方改革
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10	10	4 多様な物流、配送ネットワーク、物流センターの確保
10 人や国の不平等をなくそう	3	3	3 雇用で差別をつけない(国籍などで収入の差をつけない)
11 住み続けられるまちづくりを	3	3	3 温暖化・空気を汚さない
12 つくる責任つかう責任	5	5	4 資源削減活動、グリーン調達、ホワイテ物流、物流回収、回と棄てる取組あり。 5 環境負荷低減、デジタル化、紙削減、紙の活用、紙の活用、紙の活用
13 気候変動に具体的な対策を	2	1,3	0
14 海の豊かさを守ろう	2	1,3	0
15 陸の豊かさも守ろう	2	1,3	0
16 平和と公正をすべての人に	3	3	0
17 パートナリシップで目標を達成しよう	3	3	3 公平な取組を行うには必要

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





3. すべての人に健康と福祉を

- **空調服の導入** 
- アシストスーツの導入
- ホワイト物流への取り組み
(荷役作業時の安全対策／異常気象時等の運行の中止・中断)
- ドライブレコーダーの全車両設置・活用
- 交通安全講習会の実施
- 全営業所にAED設置
- コロナ対策の実施（体調管理、消毒・換気・テレワークなど）
- 有給休暇の取得促進



今年の夏の熱中症(暑さ)対策として、
「空調服」を導入致しました。早速着用された現場の方からは好評を頂いております。

SDGsの 3.すべての人に健康と福祉を、
というゴールに向けた一つの新たな取り組みとなっております。



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

- 物流DX
 - 倉庫の自動化・ロボティクス化
- ホワイト物流への取り組み（運送内容の見直し）
 - パレットの利用
 - 出荷に合わせた生産・荷づくり等
 - 高速道路の効率的な利用
- 稟議書のオンライン化

【様式】

「ホワイト物流」推進運動
持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新

(取組方針)
・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力ののもとで、物流の改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)
・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)
・運送及び荷役、検品等の運送以外の役割に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ③	パレット等の活用	パレットのまま荷降ろしして頂ける様な体制を取って頂ける様、荷主に対し交渉を行う為、各荷降ろし先の情報収集を行い、各荷主への情報提供・改善要請を行い少しでも乗務員の負担軽減出来る様にする。
2	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷づくり等	集荷車輛の入場時間を事前に収集し、入場予定車輛の順番に荷造りを行い少しでも待機時間を削減出来る体制作りを行う。(※但し、急ぎの出荷がある場合は、急ぎのものを優先する。)
3	A ⑪	高速道路の利用	運行時間がタイトな運行にしましては、運行時間・拘束時間短縮を目的とし、現状一部高速道路使用から全線高速道路使用へのシフトチェンジの為、荷主への値上げ要請を実施する。
4	B ②	運賃と料金の別建て契約	一部の荷主に対し運賃と運賃外対価(料金)を別建てで契約する事により、最低賃金等の変更に伴った料金改定を行える様、提案・改善を推進していきます。
5	D ①	荷役作業時の安全対策	重量物の荷扱いを行う事による労災事故防止、作業員の不可軽減を目的とし、作業補助具(アシストスーツ)の導入を試験的に行う。
6	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	荷主からの要請により配達の指示があった場合でも乗務員に危険が及ぶ恐れがある場合には、手前での停車もしくは引き返しを指示し、荷主に配送不可の報告を行う様にし、危険な運行をさせない様に行います。配送可能かどうかは有程度乗務員の判断による。
PR欄			物流事業を通じ顧客の良き物流・パートナーとして地域社会に貢献出来る会社を目指して頑張っています。



13. 気候変動に具体的な対策を



2021.5 丸協にゆーす

• 電気トラックの導入

- トラック1台当たりの年間CO2排出量は前年度の3%減を目指します
- エコ運転
(アイドリングストップ、燃費改善、無駄な回送をしない)
- モーダルチョイス (最適な物流チョイス)
- 物流の4Rの実現・展開



2021年7月、**電気トラック**を導入します。
近畿地区では**第1号の電気トラック**です。
(三菱ふそうトラック・バス株式会社様近畿ふそう納入実績より)
SDGsの 13.気候変動に具体的な対策を、
とのゴールに向かって、CO2の排出量を大
幅に削減し、環境に配慮した物流を行い、
持続可能な社会の実現を目指していきます。

今、知っておきたい物流topics

物流DXとは？

国土交通省では、物流DXについて「物流のこれまでのあり方を変革すること」と定義し、推進を図っています。情報・コスト等が見える化すること、ソフトやハード、業務プロセスを標準化することにより、生産性を向上させることが物流DXの目的です。

丸協さんでデジタル技術を活用して生産性を向上させれば物流DXを進めることとなります。

もし、身近に☎やFAX、紙による業務があれば、改善の切り口となります。これらは情報伝達のための道具なわけですが、この周辺にはデータの再入力などが発生しているはずだからです。

京セラの倉庫では、自分でアプリを作るシステムを使い、紙と鉛筆で行っていた40万点の棚卸をスマホに置換えたそうです。
(<https://news.mynavi.jp/ikaku/20200828-1246877/>)



資料) 国土交通省